

「自然栽培パーティ 全国フォーラム」参加連絡FAX

FAXは、0565-45-7886へ

*以下にご記入いただき、このページをFAXください。
*FAXによる申込受付後、受付番号を記入した参加証を送信いたします。
参加費等は当日ご持参ください。

どなたでも
ご参加
いただけます。

	氏名	参加イベント(参加イベントに○を付けてください)				
参加者名	(ふりがな)	11/23	フォーラム	懇親会	11/24	実践勉強会
参加者名	(ふりがな)	11/23	フォーラム	懇親会	11/24	実践勉強会
参加者名	(ふりがな)	11/23	フォーラム	懇親会	11/24	実践勉強会
参加者名	(ふりがな)	11/23	フォーラム	懇親会	11/24	実践勉強会
参加者名	(ふりがな)	11/23	フォーラム	懇親会	11/24	実践勉強会
参加者名	(ふりがな)	11/23	フォーラム	懇親会	11/24	実践勉強会
参加者名	(ふりがな)	11/23	フォーラム	懇親会	11/24	実践勉強会
参加者名	(ふりがな)	11/23	フォーラム	懇親会	11/24	実践勉強会
ご住所	〒 一					
所属団体			電話番号			
Eメール			FAX			

お申込み・お問合せ

自然栽培パーティ全国協議会事務局 TEL:0565-45-7883(担当川井) / FAX:0565-45-7886 / E-mail:jimukyoku@shizensaibai-party.com

自然栽培は、無農薬・無肥料で育てる農法

農薬を使わなければ分かるけど、肥料もなしで作物が育つのか。信じられない方も、興味を持った方も、ぜひ、ご参加ください。太陽のエネルギーで土の中の微生物を育て、自然の栄養素を取り込んで作物を成長させます。本来、植物はそうして生まれてきたのですから。

農福連携を自然栽培で進める「自然栽培パーティ」

全国の障害者施設に自然栽培で楽しい仕事をつくりだす活動として、2015年春、5つの障害者施設が参加し、始まりました。三つ子の障害児を授かったことをきっかけに農業に目覚めた佐伯康人さん。その意気込みに共感した公益財団法人ヤマト福祉財団の支援で、全ての施設が米づくりに挑戦し、成功しました。



第3回全国フォーラムin福岡 2018年11月23日(金)、24日(土) 開催！

[場所]
23日:アクロス福岡
24日:西新パレスホール

食べる代表・工藤公康監督、
育てる代表・木村秋則さん
自然栽培を語りつくす。

農業も除草剤も肥料もつかないけれど、ちゃんとコメや野菜は実り、果樹は花を咲かせます。ウソだと思うなら、ここで話を聞いてください。一反からでもやってください。庭のすみでも始めてください。おいしい作物ができるだけではありません。いのちの不思議に感動し、農業のたのしさにも気づきます。自然栽培パーティは、3年目で会員100か所を超えました。農業を始めたい障害者施設も、自然栽培の農家も、慣行農法の農家も、日曜農夫もご参加ください。たのしい農業で、地域から、ニッポンを健康にしましょう。

自然栽培
パーティ
3周年記念!



主催:一般社団法人農福連携自然栽培パーティ全国協議会 / 公益財団法人ヤマト福祉財団
広報協力:季刊コトノ

自然栽培パーティ ホームページ
<http://shizensaibai-party.com>



障害者や高齢者などの施設の方、自然栽培が気になる農家の方、自然栽培のコメや野菜で心も体もキレイにしたい方、とにかく自然栽培に興味のある方、知らないと損する、知ればやりたくなる自然栽培の集いです。

11/23
(金)

フォーラム

- 時間: 11時~17時
- 場所: アクロス福岡(福岡市中央区天神1丁目1番1号)

10:30	受付開始
11:00	主催者あいさつ
11:10	特別講演 福岡ソフトバンクホークス監督 工藤公康
12:00	休憩

特別
講演



懇親会

- 時間: 18時30分~20時30分
- 場所: リタの農園(福岡市博多区築港本町13-6 ベイサイドプレイス博多A棟1階)
- 定員: 100名
- 会費: 6,500円 ※福祉・農業関係者のみ



11/24
(土)

フォーラム実践勉強会

- 時間: 9時30分~12時
- 場所: 西新パレスホール(福岡市早良区西新2丁目10番1号)
- 定員: 200名
- 参加費: フォーラム参加費に含む

9:00	受付開始
9:30	講演1 「自然栽培の野菜づくり」
10:20	休憩
10:30	講演2 「GAP認証について」 (株)北海道有機認証センター センター長 塩田彦隆
11:30	意見交換会
12:00	終了



特別
講演

福岡ソフトバンクホークス監督
工藤公康 (くどうきみやす)



1963年愛知県豊明市生まれ。55歳。愛工大名電3年時に、夏の甲子園に出場。史上18人目のノービットノーランを達成し、チームをベスト4に導く。1981年にドラフト1位で西武ライオンズ(現:埼玉西武ライオンズ)に入団。11度のリーグ優勝、8度の日本一に貢献すると、1995年福岡ダイヤモンドホークス(現:福岡ソフトバンクホークス)へ移籍。1999年には最優秀防御率投手、最多奪三振のタイトルを獲得し、ダイイチ初のリーグ優勝の原動力となる。2000年に読売ジャイアンツへ移籍。この年のリーグ優秀選手として日本一の役員となり、3球団で優勝と日本一を経験した。横浜ベイスターズ(現:横浜DeNAベイスターズ)、埼玉西武ライオンズへと移籍し、2011年12月に引退表明。2015年より福岡ソフトバンクホークス監督に就任し、リーグ優勝・日本一へ。2016年は惜しくもリーグ2位となるも、2017年に再びリーグ優勝と日本一を果たす。私生活では5人の子の父親であり、夫人とともに非常に仲の良い家族としても有名。



1949年、青森県中津軽郡雄木町生まれ。木村興農社社長。弘前実業高校卒。川崎市のメーカーに勤務後、農業を手伝ってほしいという父の説得により、1年半で退職する。71年から家庭のリンゴ栽培を中心に農業に従事。農業で家族が健康を養ったことをきっかけに無農薬・無肥料栽培を摸索する。10年近く無収穫、無収入になるなど苦難の道を歩みながら、ついに無農薬・無肥料のリンゴ栽培を成功する。弘前大学の農学生命科学部の山口修一教授は「おもろ世界で初めてではないか」と評しておられ、世間からは「奇跡のリンゴ」と呼ばれている。現在リンゴ栽培のためなら、全国、海外で農業指導を続けている。

実践報告 ①

「自然栽培パーティの百姓は、百笑だ。」

障害者と農業に取り組むことの楽しさをお伝えします。

天候や土にはさからえない。野菜はおもい通りにならない。農作業は大変で農業の扱い手は少なくなっている。でも、農作業を障害者はよろこんでくれる。失敗も楽しい、百笑の話を聞いてください。



特定非営利活動法人緑活 おもや 代表
自然栽培パーティ 副理事長

杉田健一
(すぎたけんいち)



2010年(特非)緑活常務理事に就き、障害者のグリーンホーム、農をする作業所「おもや」を立ち上げ自然栽培に取り組む。2018年には「栗東529(こんにゃく)プロジェクト」始動!障害があろうとなかろうと誰もが共に「生きている」思じを大切に活動中。

報告 自然栽培での失敗や苦労、障害福祉での可能性とは

農業生産法人みどりの里
農場責任者

野中慎吾
(のなかしんご)



自然栽培農家。国際NGOを経て、2008年から農業生産法人みどりの里の初代農場責任者に。コス、イチゴを筆頭にトマト、キュウイ、ダイコンなどの野菜の自然栽培を手がける。就労継続支援A型、B型、生活介護事業所など様々な連携を実施。

報告 障害者との連携で耕作面積拡大!

「農業は、もっと誇っていいんじゃないかな。」

自然栽培パーティの社会的意義をお伝えします。

自然栽培は、おいしく安心な作物を育てる。休耕地を田んぼに戻して、里山を守る。農業は地域の人をつなげる。どれだけ、社会に貢献しているか。聞いて損はありません。

株式会社ラントマーク 代表取締役
株式会社はたぐひよびデザイン室 代表取締役
自然栽培パーティ 副理事長

里見喜久夫
(さとみきくお)



1991年に、株式会社ラントマークを設立。商品プランニング、デザインなどの業務に従事する。2012年、株式会社はたぐひよびデザイン室設立。障害者の経済的自立をテーマにした季刊誌「コトノハ」の発行に関わり、編集長を務める。

報告 自然栽培パーティで持続可能な社会を!

株式会社パーソナルアシスタンクト青空 代表取締役
自然栽培パーティ 審査顧問

佐伯康人
(さえきやすと)



2000年三つ子を授かるが脳性まひに。障害児を持つ親の苦悩や行政サービスの不備を感じ、自ら福祉事業を開設。木村秋則さんに影響を受け自然栽培を開始。第15回小倉昌男賞受賞。

報告 自然栽培の魅力と農福連携について

特定非営利活動法人伊都福音サービス協会 理事長
自然栽培パーティ 理事

池田浩行
(いけだひろゆき)



2000年から、福岡で障害者福祉の仕事に従事。2011年、脳梗塞発症、手術へ。人生を見直す意味から農業の道へ。2012年に糸島市へ移住。農福連携のために(特非)伊都福音サービス協会設立。翌年農業生産法人設立。有機栽培、自然栽培に取り組む。2018年には有機JAS認証取得。

報告 盛り上がる自然栽培パーティ九州!

埼玉福興株式会社 代表取締役
自然栽培パーティ 理事

新井利昌
(あいとうしまさ)



知的障害者生活寮の寮長を努めながら、1996年埼玉福興(株)を設立。農業への異業種参入を実現し、同社を農業法人化。障害者と共に野菜の水耕栽培・露地栽培・オーニング・利用加工、などを手がけ、ソーシャルファームという新しい概念で社会的就労困難者の働く場を創出している。2016年国際オリンピックコンテスト金賞受賞。

報告 SocialFirm.co、自然栽培でつなぐコミュニティ展開!

実践報告 ②

「農業は、もっと誇っていいんじゃないかな。」

自然栽培パーティの社会的意義をお伝えします。

自然栽培は、おいしく安心な作物を育てる。休耕地を田んぼに戻して、里山を守る。農業は地域の人をつなげる。どれだけ、社会に貢献しているか。聞いて損はありません。

有限会社サン・スマイル 代表取締役
自然栽培パーティ 理事

松浦智紀
(まつうら とものり)



九州東海大学農学部農学科卒業後、福岡県久留米市の食品会社に就職。その後埼玉に帰郷し、「有(有)サン・スマイル」を起業。趣味は自社自然栽培農園の農業活動。自然栽培パーティでは品質管理や販売のアドバイスを担当。

報告 自然栽培は、おいしい!自然栽培農産物の流通について

社会福祉法人無門福社会 事務局長
自然栽培パーティ 理事長

磯部竜太
(いそべりゅうた)



2014年自身の勤める(有)無門福社会の農業班の立て直しのため、佐伯さんには指導を依頼し、「有(有)サン・スマイル」を起業。趣味は自社自然栽培農園の農業活動。自然栽培パーティでは品質管理や販売のアドバイスを担当。

報告 自然栽培で広がる地域の輪